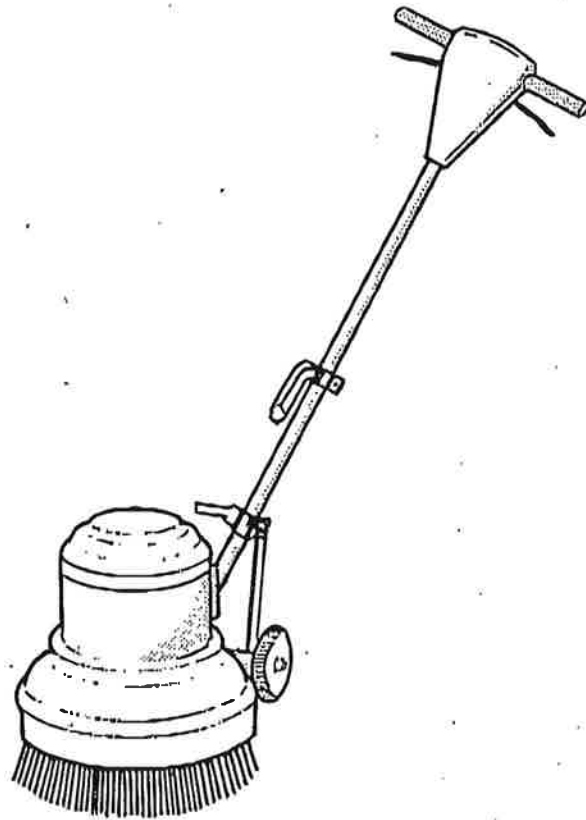


フロアポリッシャ取扱説明書

ご使用の前に必ずお読み下さい



この説明書はポリッシャをご使用になる方がいつでも見られるところに保管してください

フロアポリッシャ取扱説明

安全作業のご注意

- * ポリッシャをご使用になる時には、この『安全作業のご注意』をお読みの上、正しくお使い下さい。
- * ここに書かれましたご注意はポリッシャを安全に正しくご使用いただき、ご使用者や他の人々に危害や損害を与えることを防止するためのものです。また誤ったお取扱によって発生が予想される危害や損害の度合いや内容の緊急性を示すため、人の死亡を含む重大な危害を負うような内容の場合は「警告」、その他の危害を受けたり、物的損害の発生を内容とする場合は「注意」とするなどに区分してあります。

表示マークの説明







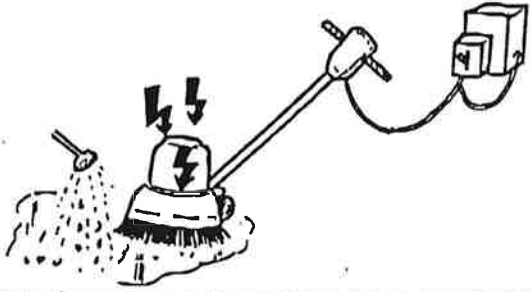

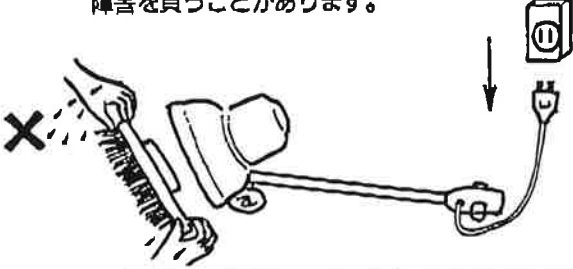

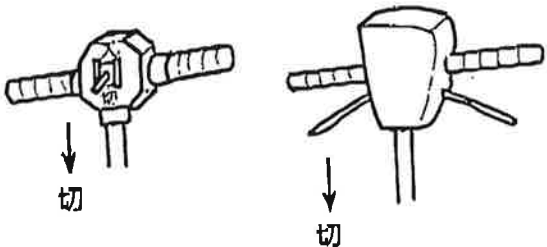
この記号は警告や注意に該当すると思われる事項があること、およびその内容の明示があることを示しています。



この記号は禁止する行為を示すものです。図や文章で具体的にその内容を示しています。

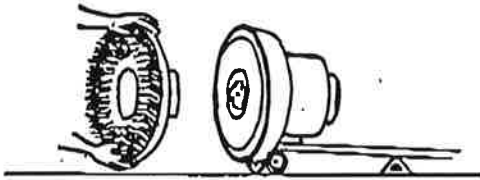


この記号はここに表示されている行為を厳守して相違することのないよう指示する事項を示しています。図や文章で具体的にその内容を示しています。

 警 告	
<p> 修理技術者以外の方は分解したり修理、改造はしないで下さい。漏電したり異状動作をして障害を負うことがあります。</p> 	<p> アース線の接続や漏電ブレーカの使用をしないで、水などで濡れたり金属フロアなど電気を通しやすい場所での使用はしないで下さい。漏電による危害や損害を受けることがあります。</p> 
<p> ブラシの着脱や洗剤の供給など作業準備をしたり、機械各部のお手入れの際は必ずプラグはコンセントから抜いて下さい。また濡れた手でプラグの抜き差しをしないで下さい。感電したり障害を負うことがあります。</p> 	<p> プラグをコンセントに差込むときは必ずポリッシャのスイッチが「切」になっていることを確認して下さい。無人回転により危害や損害を負うことがあります。</p> 



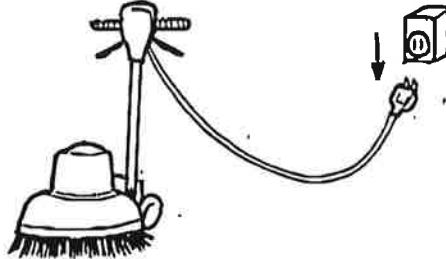
プラグをコンセントに差込むときは機械やブラシなどの回転部分が床面に接触しないよう機械を傾けて下さい。無人回転をして危害や損害を負う場合があります。



ガソリン、シンナーなど揮発性油脂のある場所では使用しないで下さい。漏電や摩擦などによる発火のおそれがあります。



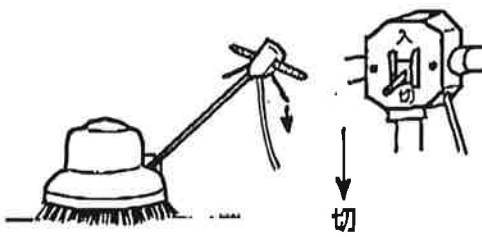
作業を中断して使用者がポリッシャから離れるときは必ずプラグを抜いて下さい。他人のスイッチ操作など誤作動により危害や損害を負うおそれがあります。



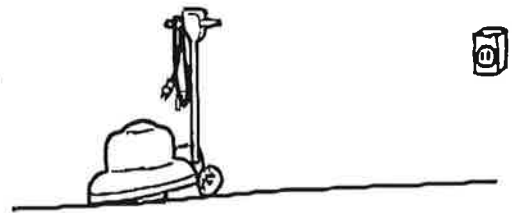
作業中は作業服、手袋、靴を着用し身体を露出しないで下さい。漏電による危害を負うことがあります。



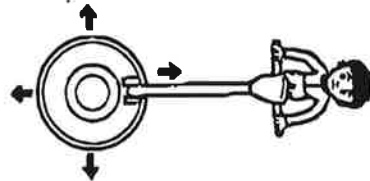
作業中プラグが抜けたりブレーカがとんだり停電したりして運転が停止したときは、ただちにスイッチを「切」に戻して下さい。再び通電した時回転して危害や損害を負うことがあります。



作業を終了したときは必ずプラグをコンセントから抜き取り、コードをハンドルに巻きとっておいて下さい。そのままにすると誤操作による回転や、コードに人がつまずくなど危害や損害を負うことがあります。



ワンプラシ型のポリッシャはブラシの回転により定位置に固定することは困難です。操作方法に習熟してから使用して下さい。不安定な走行により危害や損害を負うことがあります。



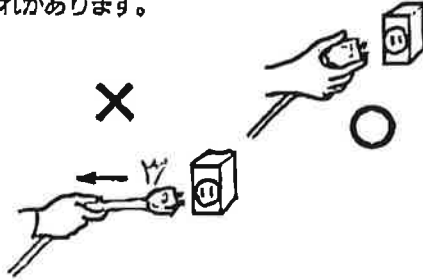
ワンプラシ型のポリッシャを使用の際は安全な操作が必要です。子供や操作に支障がある方の使用は、危害や損害を負うことがありますのでしないで下さい。



⚠ 注意



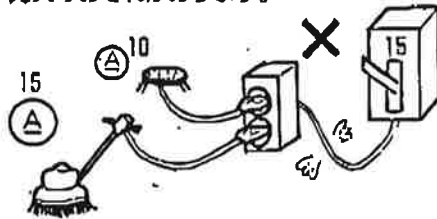
プラグをコンセントから抜くときにはコードを引張らないでプラグを持って抜いて下さい。プラグやコード内でショートして停電や発火のおそれがあります。



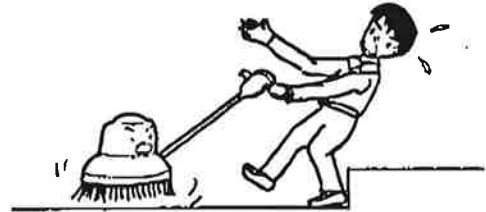
表示の電圧などと著しく異なる電源下での御使用はしないで下さい。故障、発熱、発火などをおこすおそれがあります。



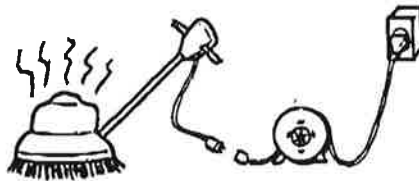
使用するコンセントを含む配電回路はポリッシャに表示する電流容量より大容量で、かつ他の電気機器などの負荷がないことが必要です。ブレーカがとんだり、回転力が落ちたりして停電や発火のおそれがあります。



運転中は両手でハンドルをしっかり握って操作して下さい。つまずいたりして手はなれ危害や損害を負うことがあります。



電流容量の小さいコード、長い延長コードやコードリール等の御使用はしないで下さい。回転力不足、発熱、発火など故障や損害を負うことがあります。



ポリッシャの上におもりをのせて運転しないで下さい。重すぎる負荷はポリッシャの損傷をまねき、故障、停電、発熱などをおこすおそれがあります。


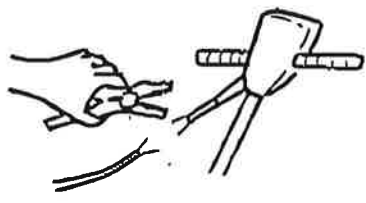
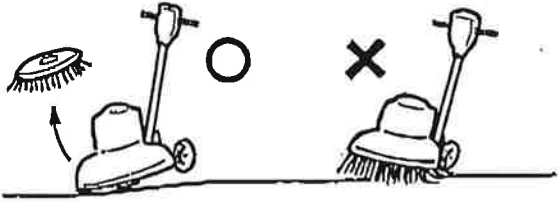
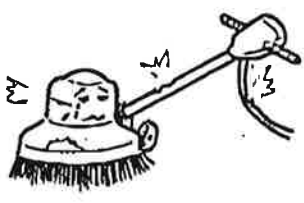
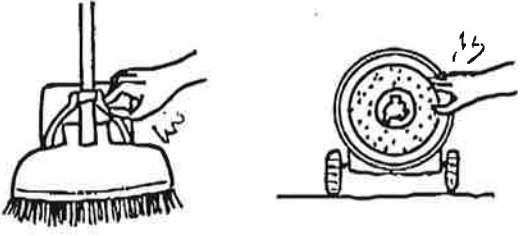
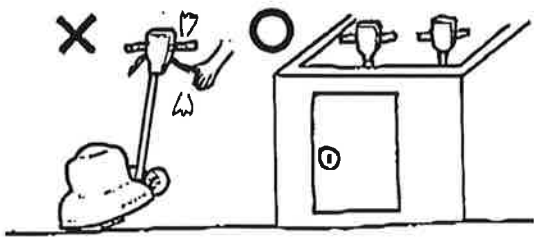
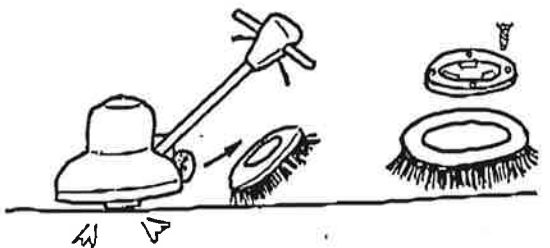


運転の際はコードが回転しているブラシに巻込まれないよう機体から離して下さい。漏電や操作不能などにより危害や損害を負うことがあります。



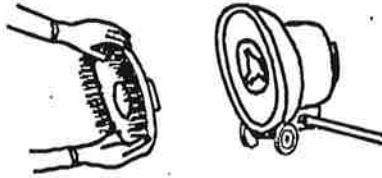
ポリッシャのアタッチメントは規定寸法を超えるものは使用しないで下さい。大きすぎる負荷はポリッシャの損傷をまねき、故障、停電、発熱などをおこすおそれがあります。



<p>⊘ 機体の清掃はしぼった布などで拭いて下さい。水や洗剤などを直接かけないで下さい。感電やショートなど危害や損害を負うことがあります。</p> 	<p>⊘ ポリッシャにタンクを取り付けて使用する時は規定された濃度以上の洗剤や溶剤は使用しないで下さい。タンクや機体を破損するなどして損害を負うことがあります。</p> 
<p>⊘ プラグやコードなど配線部品を交換したり修理するときは、電気の技術者にさせて下さい。規定の工事をしなせんと故障や危害や損害を負うことがあります。</p> 	<p>! ポリッシャを保管する時はブラシなどを取外して下さい。取付けたままですとブラシの一方に重さがかかって刷毛の長さが不均等になるなどして不安定な回転になり危害や損害を負うことがあります。</p> 
<p>! 機体各部にゆるみや、作動不良など不具合な箇所がある時は、早めに修理をして下さい。ケガなどの危害を負うことがあります。</p> 	<p>! ブラシ、ハンドルまたは車輪部分などの取付けや固定のため手で操作するときは、ゆっくり注意して確実に行ってください。指をはさむなどして危害を負うことがあります。</p> 
<p>! ポリッシャは使用者以外の人には触れることが出来ない場所に保管して下さい。再使用の際故障や誤作動による危害や損害を負うことがあります。</p> 	<p>⊘ ブラシ等を取付けないで回転させたり取付が不完全で回転中にブラシ等が外れたりすると床材等を損傷します。ブラシプレートのブラシへの取付、ポリッシャへの取付は確実に行ってください。</p> 

運転方法 『安全作業の御注意』 を読んでから運転して下さい

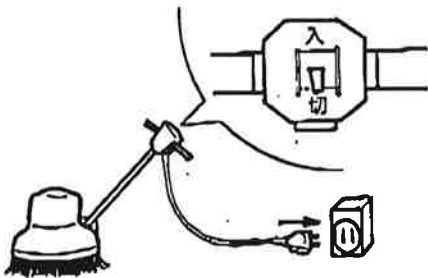
1. ブラシやバット台などをポリッシャ下側の取付金具に押し込み左に回して噛合わせしっかりと取付けて下さい。



5. ポリッシャの運転 (ブラシが1個のもの)
前進はハンドルの右手側を持上げる
後退はハンドルの左手側を持上げる



2. スイッチが「切」になっていることを確認してからプラグをコンセントに差込んで下さい。



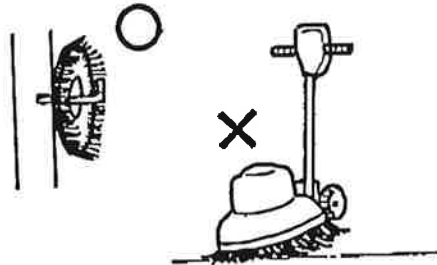
6. 作業を中断したり、終了したときはプラグをコンセントから取外しコードを巻きとって下さい。ハンドルは直立の位置に戻し車輪もおろして下さい。



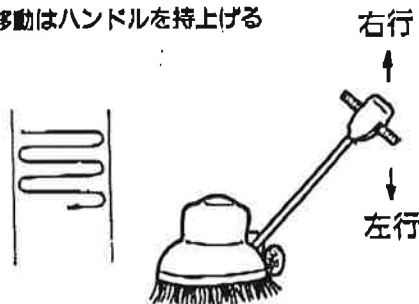
3. ハンドルを運転しやすい位置に固定して下さい。また、昇降式の車輪は上げて下さい。スイッチを入れると回転します。



7. ブラシやバット台などは本体から外し、汚れを落として乾燥した場所に保管して下さい。



4. ポリッシャの運転 (ブラシが1個のもの)
左への移動はハンドルを押下げる
右への移動はハンドルを持上げる



8. ハンドルや本体の汚れは湿った布などで拭き取り風通しのよい場所に保管して下さい。また、車軸やハンドル取付部分など可動箇所には時々油をさして下さい。



◆お願い◆

この説明書や製品等に関するお問い合わせは、ご購入の販売店または、販売店を通して製品に表示してある発売元、または製造者までお申出下さい。